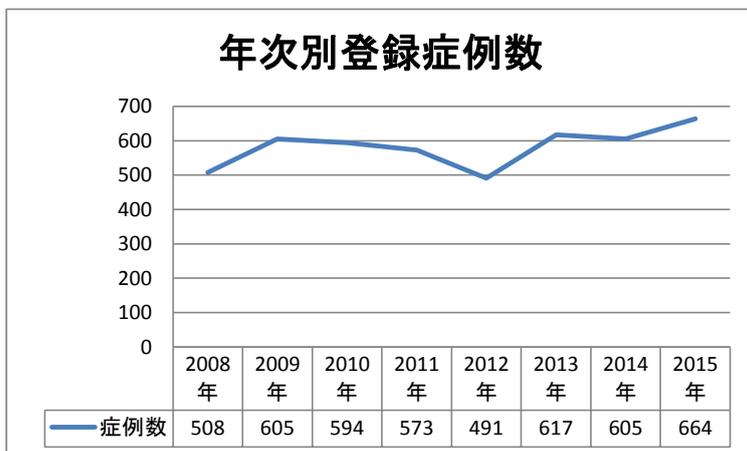


統計について

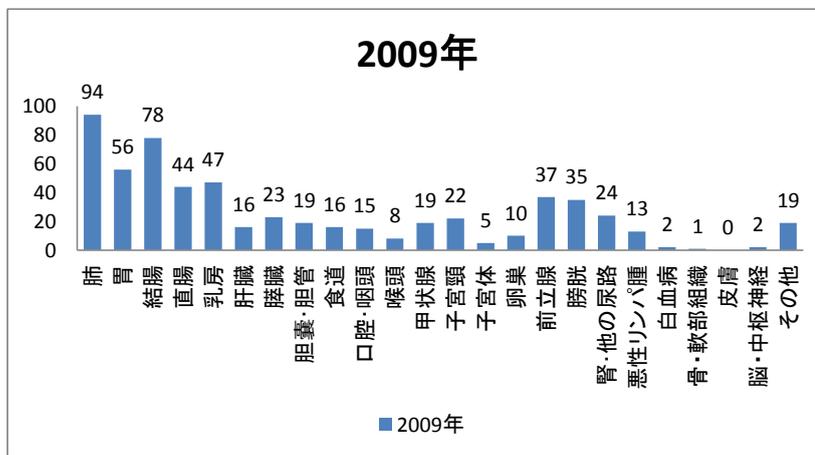
2008年	508
2009年	605
2010年	594
2011年	573
2012年	491
2013年	617
2014年	605
2015年	664



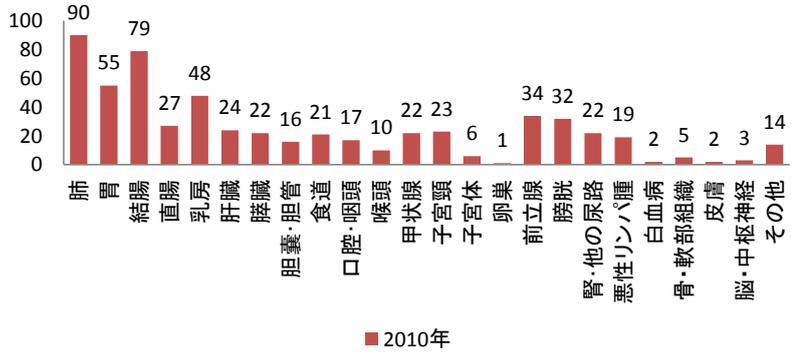
院内がん登録部位別登録数(上皮内がんも含む)

(件)

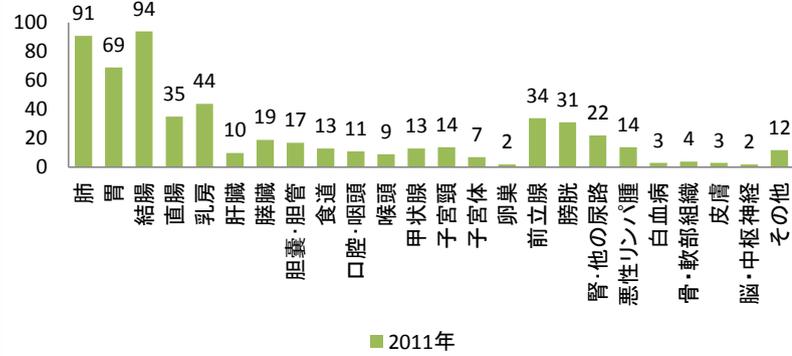
部位	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
肺	94	90	91	58	95	89	94
胃	56	55	69	56	70	90	81
結腸	78	79	94	71	68	74	79
直腸	44	27	35	27	42	34	40
乳房	47	48	44	35	52	40	62
肝臓	16	24	10	13	19	21	24
膵臓	23	22	19	17	28	20	28
胆嚢・胆管	19	16	17	20	20	27	30
食道	16	21	13	15	14	13	19
口腔・咽頭	15	17	11	9	17	8	16
喉頭	8	10	9	8	9	5	10
甲状腺	19	22	13	18	10	12	14
子宮頸	22	23	14	21	21	5	4
子宮体	5	6	7	3	8	2	2
卵巣	10	1	2	1	7	4	1
前立腺	37	34	34	32	26	38	27
膀胱	35	32	31	33	31	38	31
腎・他の尿路	24	22	22	22	26	22	27
悪性リンパ腫	13	19	14	11	23	22	17
白血病	2	2	3	1	4	7	4
骨・軟部組織	1	5	4	7	6	1	1
皮膚	0	2	3	3	5	4	8
脳・中枢神経	2	3	2	3	4	10	18
その他	19	14	12	7	12	19	27
総登録数	605	594	573	491	617	605	664



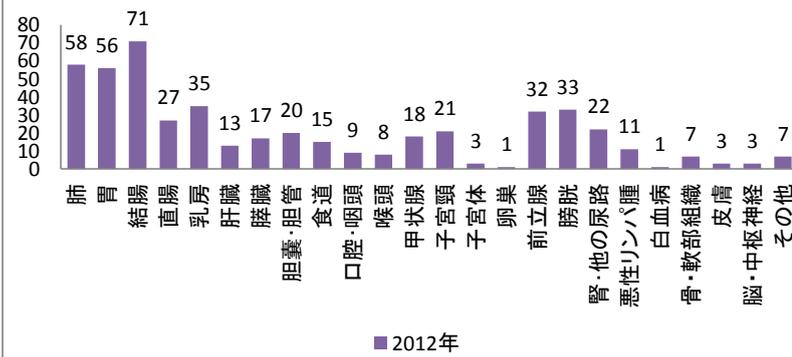
2010年

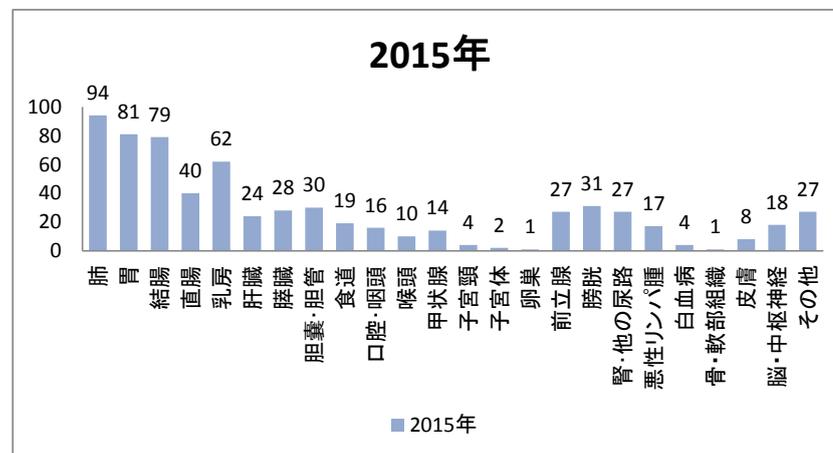
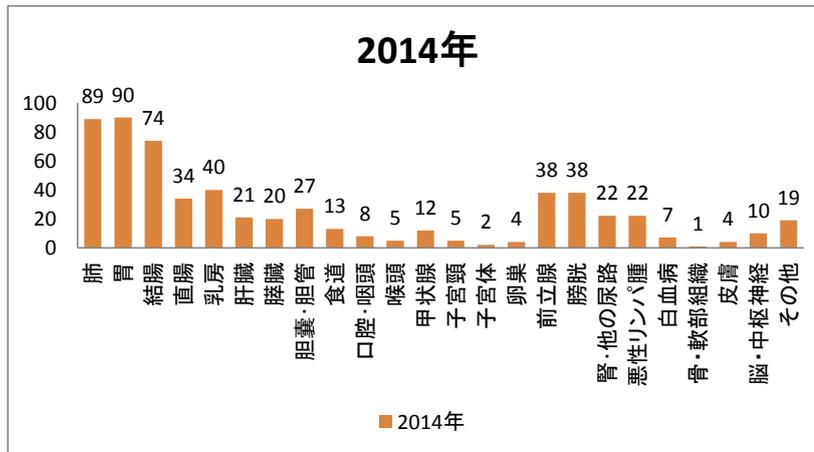
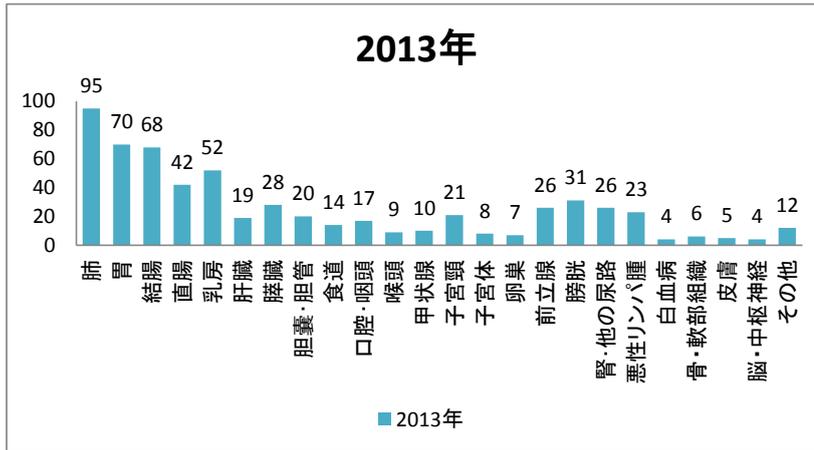


2011年



2012年

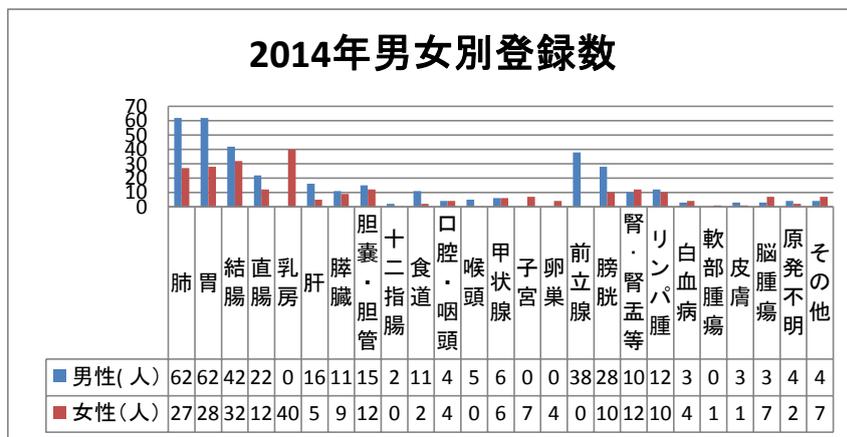




男女別登録数(2014年)

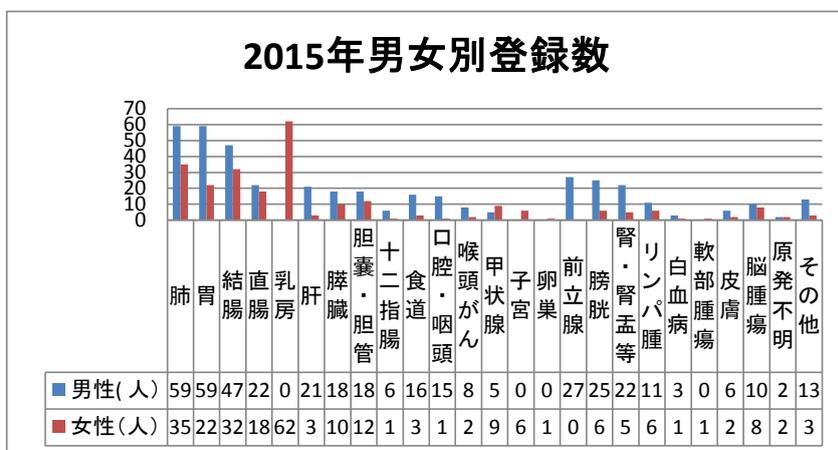
	男性(人)	女性(人)	合計(人)
肺	62	27	89
胃	62	28	90
結腸	42	32	74
直腸	22	12	34
乳房	0	40	40
肝	16	5	21
膵臓	11	9	20
胆嚢・胆管	15	12	27
十二指腸	2	0	2
食道	11	2	13
口腔・咽頭	4	4	8
喉頭	5	0	5
甲状腺	6	6	12
子宮	0	7	7
卵巣	0	4	4
前立腺	38	0	38
膀胱	28	10	38
腎・腎盂等	10	12	22
リンパ腫	12	10	22
白血病	3	4	7
軟部腫瘍	0	1	1
皮膚	3	1	4
脳腫瘍	3	7	10
原発不明	4	2	6
その他	4	7	11
合計	363	242	605

2014年男女別登録数



男女別登録数(2015年)

部位	男性(人)	女性(人)	合計(人)
肺	59	35	94
胃	59	22	81
結腸	47	32	79
直腸	22	18	40
乳房	0	62	62
肝	21	3	24
膵臓	18	10	28
胆嚢・胆管	18	12	30
十二指腸	6	1	7
食道	16	3	19
口腔・咽頭	15	1	16
喉頭がん	8	2	10
甲状腺	5	9	14
子宮	0	6	6
卵巣	0	1	1
前立腺	27	0	27
膀胱	25	6	31
腎・腎盂等	22	5	27
リンパ腫	11	6	17
白血病	3	1	4
軟部腫瘍	0	1	1
皮膚	6	2	8
脳腫瘍	10	8	18
原発不明	2	2	4
その他	13	3	16
合計	413	251	664



来院経路別登録数

	自主	紹介	経過観察中	その他
2014年	123	384	95	3
2015年	102	440	118	4

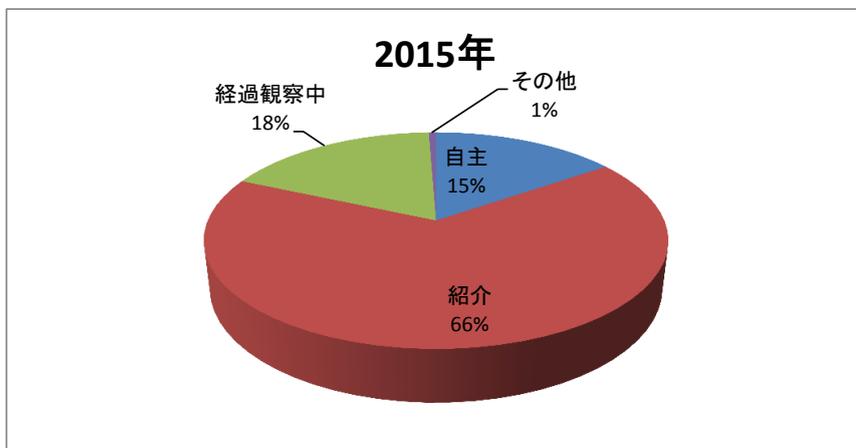
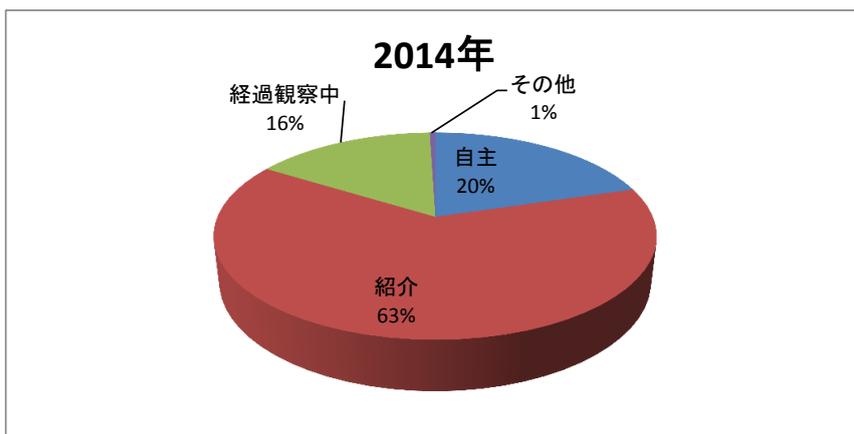
当該腫瘍の診断・治療のため当院を受診した経路です。
 がん患者がどのような経路により当院を受診したのかを把握できます。

紹介について

紹介:がん検診、健康診断及び人間ドックなどの結果により他院を受診し
 当院を紹介された場合。

自主:当院を直接受診

他疾患経過観察中:当院及び他院において他疾患で経過観察中であった。



症例区分別登録数

	診断のみ	自施設診断 自施設治療	他施設診断 自施設治療	他施設にて初 回治療開始後	その他
2014年	44	482	17	16	46
2015年	41	540	15	7	61

症例区分では初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者様を振り分けるための区分です。

